

日本における令和6年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



人権標語 皆さんが感じたことの紹介

今回は今までで紹介しきれなかった生徒の皆さんの感想（1，2，3年）と、保護者の方の感想を紹介していきます。（☆印・・・生徒 ◎印・・・保護者）

☆人それぞれ人権について面と向き合っていて、自分もそのようにならないといけないなと改めて感じる事ができた。今後の未来を背負っていくのは自分たちだから、よりよい未来にしていけるように、日々の行動を見直し、頑張っていこうと思う！

☆自分の人権が守られているということは、他の人が自分に対して優しくしてくれているということなので、常に感謝しながら生活しようと思った。そして、守られているだけではよくないと思うので、守ってあげる側にもなり、winwinな関係をこれからも作っていきたいです。

☆悪口や差別は改めて良くないことだと思った。これからは悪口を言わないようにする。

☆ネットでの人権侵害が、負の連鎖になるということが、確かにその通りだと思った。

☆私たちが、「普通」というものの考え方を改めようと思いました。

☆差別を絶対にせず、みんなと仲良くしていきたいと思いました。

☆自分がやっちゃっている部分があったり、友達もやっていることもあるため、日々の自分への行動を改め、友達もやっていたら、注意していこうと思った。

☆「刑を終えて出所した人への偏見をなくそう」は考えたことがなかったし、自分も少し偏見があったと思うから、直したほうがいいのかなと思った。

☆一言で人の心を傷つけることもできるけど、その一言で人を笑顔に幸せにすることもできる。

☆〇〇だから、〇〇なのに、という言葉は必要ないし、使わないことが大切だと思う。

☆無意識な発言で、知らない間に人を傷つけているかもしれないと自覚した。「私はそんなことしていない」と思っているけど、それは本当かわからないから、人と話すときは、いつも相手が「自分だったら？」を考えて関わりたい。

☆もっと人と一緒に向き合っていきたいと思う。がんばってみんなと一緒にこれからの人生を考えたい。

☆人はみんな同じ人間だから、自分から決めつけて壁を作らないようにしたいと思った。自分も無意識にしているかもしれないから気を付けようと思った。

以下は保護者の方々の感想です。

◎みんな素敵な標語で素晴らしいです。良く考えて感じて、言葉で表現できていて、本当にそうだね！って思いました。四中生、えらい、スゴイ！未来が楽しみです。その書いた心をずっと忘れず、行動に移せたらさらに素晴らしいと思いました。親の私たちも見習いたいです。

◎今年も標語コンクールを行ってくださりありがとうございます。毎年楽しみにしています。今回もいいなと思う標語が多く迷いました。どれも共感しました。人権を考える時、大切なのは想像力だと思います。どれだけ自分事として想像できるか、、、誰もが意識したら尊重しあえる世の中になれるのではないかと思います。人権だよりもいつも拝読しています。これからも勉強させていただきます。(今年も標語の応募に間に合わず、残念でした、、、泣)

◎『「あそびだよ」本当に相手 笑ってる?』の標語のように、自分は平気だと思っていることが、相手にとっては、嫌なことがあるということをお互いに理解できるようになってほしいです。

◎中学生が作った作品とは思えないほど素晴らしいものがたくさんありました。

◎どの標語にも人権について真剣に考えた子どもたちの思いやりや優しさを感じました。

◎この標語を見せていただき、中学生の人権意識の高さを感じられました。

◎どれも考えさせられる良い標語でした。毎日たくさん娘と話をしますが、自分の心を大事にするとともに、他者のことも尊重し大切にする人生を送ってほしいです。自分は一人ぼっちではなく、必ず誰かに助けられていること、助けられることがあることを忘れないように。

◎生活の中で標語の言葉を思い出すことで、心のストッパーになるといいな。「正しさとは」何か、自分の行動を見つめ直す機会となったと思います。

◎時代の変化を感じる良い標語が集まっていると思いました。どの言葉も核心をつき、インパクトがあり、大切にしたいことだと思いました。

◎この標語を読んで、自分でも知らずに人を傷つけていることや差別していることがあるかもしれないと考えました。標語を通して社会で問題となっていることに目を向けるきっかけになりました。

今年も作品作りや投票、感想など、ご協力ありがとうございました。